

はにい

共有のツール

平成30年1月15日

6年生の算数「順序よく整理して調べよう」の授業。

A、B、C、Dの4チームでサッカーの試合をします。1回ずつ試合をするとき、どんな対戦の種類がありますか？

「今までやってきた問題と何が違いますか？」先生が投げかけると、

「A対BとB対Aは同じことになるなあ。」「AとBで対戦したら、もうBとAは対戦できない。」次々と声が上がります。

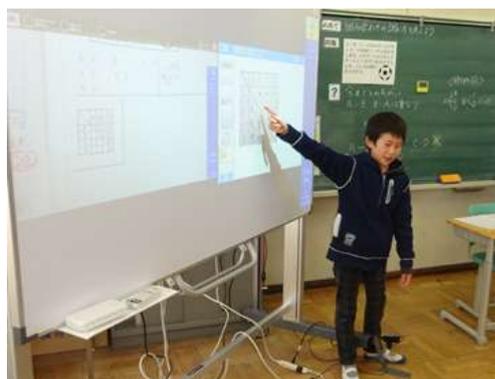
子どもたちは、自分の考えをノートに書いて、それをタブレットPCで撮影し、送信します。

電子黒板にみんなの考えがいったんに映し出されます。先生がクリックすると今度はその中のひとりの児童のノートが大きく映し出されました。

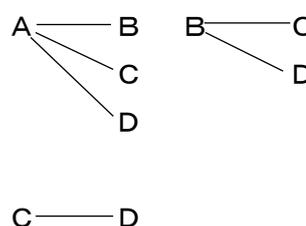
「私は、樹形図を使って考えました。」「こうやって書いていくと、Dの組み合わせはありませんでした。」

今度は、別の児童のノートが映し出されました。「ぼくは、対戦表を使って考えたよ。」

さらに、別の児童は、「ぼくは、対戦する相手のチームに線をつなげてみたよ。」「あーそういうやり方もあるのか。」



【樹形図の例】



いろいろなやり方が出てきたところで、先生はこう言いました。「どの、考え方がいいと思う？」「いいなと思う友達の考えをタブレットで撮影して、自分のノートに書いておきましょう。」子どもたちは、思い思いに撮影してノートに考えを写していきます。そうすることで、自分の考えに友達の考えが合わさっていきます。

最後に先生は、「こんなやり方もあるよ。」とタブレットに一齐送信。「あーこういうやり方もあったのか。」ちょっと悔しそうな児童のつぶやきが聞こえてきました。

『はにい』はコミュニケーションツールです。 みんなで語り合いましょう。
ご意見・ご感想は → inochi4027@pref.kanagawa.jp